



さんが

第一〇六号

令和 二 年

西暦 二〇二〇年

孟蘭盆七月号

曹洞宗 東運寺

京都市伏見区淀新町六一八一

TEL 〇七五-六三一-二二七二

FAX 六三一-五七二五

E-MAIL sanga@tounji.net

「七月八日おせがき」について

みなさまいかがお過ごしでしょうか。緊急事態宣言は解除されても、安心のしきれない毎日かと存じます。

さて、その懸念をかんがみ、来たる七月八日（水）午前十時より行われる、お盆の法要について、左記のようにおつとめすることにいたしました。

☆ 最初に護持会の総会をおこない、引き続いて、いつも
の法要を行います。十一時までには終わります。

☆ お手伝いのお寺さんを少なくします。

☆ 本堂内に、手指消毒剤を準備します。間隔に配慮して、
椅子の設置をします。

マスクは、恐縮ですが各自にてご用意ください。

たいへん残念ながら、今回は、先代住職の追悼法要を
とりやめることにします。当日はぜひ、東堂のお墓にお
参りくださいませ。

「お盆のお参り」について

現在のところ、お盆の棚経は、例年通りお参りする予
定です。

棚経にお伺いしている方々には、このお便りに
「棚経のご案内」を同封しています。ご確認のほど、ど
うかよろしく願いいたします。

なお、淀近辺の方には同封しておりませんが、いつも
の日時でお伺いいたします。

こんな時だからこそ、手を合わせる

ことで、ご心配が解消できればと思っております。



しかしながら、強いご不安のなかお迎えくださること
は、お寺の本意ではありません。

「心配なので、今年は家族だけでおまつりする」という
ことがあれば、どうか遠慮なく、ご連絡ください。

緊急事態の最中には、ご法事についてもお問い合わせをいただきました。延期をなされたり、人数を減らしてお参りされたりと、いろいろなご対応をなされました。

そんな中、ご自宅にいながらにして、インターネットを使って、お寺での法要や法話会、坐禅会などに触れる機会が、テレビでも紹介されていました。

コロナ後の世界がどうなるか、議論や予想もされています。お寺も、未来はどんなかたちで社会に迎えられていくのか。続いていくこと、変わっていくこと、さまざまでしょう。私たちお寺の者も、模索してまいります。



人間には、感染症との闘いをくり返してきた歴史があります。私たちは、危機にも智慧を発揮して、手を取り合って乗りこえていける力を持っています。すべての人に、安心して暮らせる日が戻りますように、祈っております。そのためにも、どうか落ち着いた心持ちを、忘れずにいてくださいますように。



団参中止になりました (>_<)

いつも秋に計画している、団参（檀信徒親睦研修旅行）が、今年は中止になりました。バスでの移動が、密にあたるとの判断からです。

住職が、この団参の係なので、とても残念に思っています。来年はなんとか収束して、ふたたびみなさまとご一緒できることを祈っています。

本堂屋根工事

終了しました



平成三十年秋の、台風二一号による被害の修復が、昨年春よりずっとなされていきました。そしてこのたび、一年間にわたる工事が、すべて完了いたしました。

お墓参りの方には、長い間ご迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。

薬師堂の工事は継続中です。

今年のうちには、すべてできあがって、生まれ変わった薬師堂をご覧頂けると思っています。どうかそれまで、楽しみにお待ちください。



↑ LINE



↑ ホームページ

東運寺ホームページは→

京都 東運寺 検索